

釜石発

震災教訓集

釜石市は東日本大震災についての証言や検証をもとに「未来の命を守るために」と題した教訓集を1万8千部作り、行政連絡員などを通じて市内の全戸に配りました。教訓集には災害への準備や心構えについても盛り込まれており、最後に未来の人々に向けて、「釜石市民より」と題されたメッセージが綴られています。(10/31 ニュースエコー)



山田発

まちなか交流センター

商店街の再生に向けて、山田町川向町に建設が進められていた「山田町まちなか交流センター」が完成しました。3階建の交流センターは、国の支援を活用した施設で、1階は朝市やイベントにも使える開放的な空間。2階は鏡やスクリーンを備え、会議や研修、サークル活動の利用を想定しています。3階には調理室があり、特産品を使った商品開発にも役立ちそうです。利用は9日から可能となっています(11/4 ニュースエコー)



大船渡発

盛小の校庭復旧

大船渡市の盛小学校では、校庭にあった仮設住宅の撤去が完了し、震災の発生以来およそ5年8か月ぶりに校庭が使えるようになりました。震災後に入学した今の在校生は学校の校庭で運動をするのは初めてです。子どもたちはさっそく鬼ごっこをしたり、



リレーをしたりして広い校庭を駆け回っていました。県内では25の小中学校の校庭に仮設住宅が建設され、校庭として復旧したのは盛小学校が3校目です。



(11/4 ニュースエコー)

大船渡発

商業施設を再生へ

大船渡市中心部のかさあげをした場所に29店舗からなる商店街の建設が始まりました。まちづくり会社「キャッセン大船渡」が2つの区画に12店舗の飲食店街と魚屋や菓子店など17店舗でつくる商店街を整備し、業者たちは賃料を払います。入居するのは「おおふなと夢商店街」や「大船渡屋台村」の仮設店舗で営業を続けてきた地元の業者のほか市外からの新規出店も予定されています。市内では先月も21店舗の業者たちがグループ補助金を使って商店街の建設をスタートしています。新たな飲食店街と商店街は来年の4月下旬にオープンする予定です。(11/7 ニュースエコー)



陸前高田発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんに11月4日(金)の「緊急地震速報訓練」と6日(日)の「津波避難訓練」について聞きました。これは、5日の「津波防災の日」に因んだものです。仮設住宅の方はもちろん、仮設を出て災害公営住宅に移った方々、新しく家を建てた方々などいずれも新しい環境になっており、そこから最寄りの避難場所を確認することが重要だと菅野さんは話していました。(11/2)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibt.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122